

もっと知って！鉄筋工事のこと！

関西鉄筋工業協同組合

今年も建設技術展に出展

11月1～2日 マイドームおおさか

多数のご来場をお待ちしています

2年前、専門工事業団体として初めて建設技術展に出展した当組合では、昨年も含め2年連続で来場者の投票で選ばれる「ベストブース賞」を受賞し、行政やゼネコン、建設業団体、設計事務所、学校関係者だけでなく、来場された一般の皆様からも高い評価をいただくことができました。今年の「建設技術展2011近畿」は11月1日と2日の二日間、大阪府中央区のマイドームおおさかで開催され、今年も当組合は出展します。

3回目の出展となる今回も、皆様に鉄筋工事の役割や重要性を理解してもらうため、職人の「心意気」を示す実演をはじめインフラ整備を支えるボックスカルバートの模型、高品質な鉄筋材料、鉄筋工事をサポートする加工機や結束機、優れた継手工法の圧接技術、かぶりを確保するスパーサーや治具、正確な拾い出しを行う積算システムなどを展示、紹介します。そのほか、ハッカーを使っでの結束体験や鉄筋の重さ当てなど来場者の皆様も参加できるコーナーも設けていますので、ぜひ私たちのブース（会場1階に入ってすぐの正面）にもお立ち寄りください。

組み上げられた鉄筋は、コンクリートの中に埋め込まれて骨格となり、建物や土木構造物が完成した時には外からは見えません。完成後には見えなくなるからこそ、しっかりとした確実な仕事が求められます。このため、組合会員の各事業所では常に緊張感を持ち、ものづくりのプロとしての自覚と責任、そして誇りを胸に皆様から信頼されるよう全力で仕事に取り組んでいます。来場者の皆様には鉄筋工事の重要性を知ってもらうとともに、ものづくりの楽しさや魅力も感じ取っていただければと考えています。多数の来場をお待ちしております。

※写真は昨年の技術展のようすです

